

第 58 回 いなべエフエム番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和 6 年 2 月 28 日(水) 10 時 00 分～
2. 開催場所 北勢市民会館 視聴覚室
3. 出席者 委員総数 6 名 出席委員数 4名(書面出席 1 名)

出席委員の氏名

佐藤 貴志 委員長
出口 和典 委員
富田 勲 委員
林 敏樹 委員

書面出席委員の氏名

藤川 里美 委員

欠席委員の氏名

辻 忠樹 副委員長

事務局

理事長 弓矢 孝己
武藤 久夫
中林 謙太
浅山 優平

4. 審議事項

1. 報告事項

2. 審議用サンプル番組について

「電波であそぼう！アタックラジオ！」 毎週日曜日 17：45～
令和 6 年 1 月 7 日（日）・2 月 11 日（日）放送分

5. 議事の経過の概要及び結果

事項 1.報告事項

- ・4月からの番組・パーソナリティについて
- ・3月11日の特別番組放送について

事項 2. 審議用サンプル番組について

委員

10分間の新番組ですが、最初の放送内容は、これから起動していく番組なんだなど。テンポもよくて、聞きやすいトークでした。テーマが無線ということで、私は無線をやる機会は少ないが、テーマが2つ趣味と電波の豆知識を題材にしてトークをしていくという事で、いい番組じゃないかなと思います。子どもの頃、無線で遊んだ記憶がある。トランシーバーが楽しかった思い出があります。今は工場でも防災の観点からトランシーバーを設置している、いざという時は必要。コミュニティエフエムの役割について、能登半島の地震もそうですが、災害時の情報発信の重要な役割があり、地域の細かな情報、炊き出し、給水、道路情報等の発信ができるというところが強み。いなベエフエムの役割も非常に重要だと感じました。もし、災害等が起きた際、どのように情報を集めるのですか？

事務局

市役所とは防災協定を結んでおり、その中で情報を共有しながら発信をしていきますが、インフラがどのような形でダメージを受けるのかというのが一番の問題です。お互いに通信ができないとなると、やはり独自で情報を集め、動ける範囲内で状況の確認等を行う事が必要です。地域の方から情報が集まる可能性もありますが、不確定な情報、間違った情報を放送するわけにはいかないので、やはり行政と連携しながら対応する形となります。

委員

冒頭にいなベエフエム様のジングルが流れていますが、非常に良いと感じました。

委員

新しい番組という事で、現在はスマホ等が普及していますが、昔は無線を趣味で使っていた。当時はアマチュア無線で、試験を受けてしばらく使っていました。携帯が普及しはじめて使わなくなった。災害の際もそうですが、双方向でやりとりできる強みがありますよね。全国に向けて流れているとおっしゃっていましたが、全国へ放送している仕組みが気になりました。生活の中でも無線が無数に飛んでいると思いますので、これからそういった事にも触れて頂けたらと思います。

事務局

電波で聞こうと思うと範囲が限られていますが、インターネットラジオであればどこにいても

聞けるので、無線家さんたちの繋がりで、SNS 等で放送していると発信して頂いております。メールも沢山頂いており、そういった繋がりから、全国の方々へという発言だと認識しております。

委員

同時に配信されているのですか。

事務局

同時に放送しております。コミュニティエフエムは JCBA という組織に加盟している所がほとんどで、加盟しているコミュニティエフエムはミュージックバードを通じて、同システムを使って無料で聞く事が可能です。

委員

無線の事を初めて知ったのですが、アマチュア無線は敷居が高い気がしていた。これは画期的な物だなと思い、調べました。ニッチな 40 代、50 代はとびつくのではないかと思います。後は伝え方次第で使用人口が増えるのではないかと思います。コミュニティエフエムの在り方ということで、常に人が集まる店舗等で放送しているところはあるのでしょうか。

事務局

市内の企業、店舗等で防災ラジオを使って放送して頂いている所もあります。

委員

常に流しておいてもらえるといいですね。愛知県のコミュニティ FM で後輩がディスクジョッキーをしている。尖ったパーソナリティがいるとそこにファンも付く。パーソナリティを育てるというのも一つ地域貢献に繋がるのではないかと思います。いなべでも特異なキャラクターがいらっしゃれば育ててほしい。

委員

出演者はこの辺の方ですか。

事務局

市内の方ではありませんが、近辺の方です。

委員

無線を飛ばして収録している訳ではないですよね？

事務局

はい。収録にお越しいただいております。

委員

定着するといいですね。

事務局(書面出席のため代読)

この放送を無線について初めて知り、全国からの反響に驚いた。SNS で簡単に繋がれる昨今ですが、無線を通して交流を楽しんでいる方々がいる事を知り、この番組が縁となっていなべ市を知っていただけたら嬉しい。パーソナリティの方が、いなべ市にどう関わりあるかお聞きしたい。無線やラジオが災害時に必要不可欠になると思うと、この番組がより一層重要になると思います。今後に期待しています。

事務局

委員様の意見の中で、反応反響コメントがあったのか、反応反響があったなら紹介してほしいという事でしたのでご紹介します。SNS にていなべ FM の宣伝をパーソナリティのお二方がしてくれている。番組表を PR、インターネットラジオの URL を貼って、無線仲間の方が広げて頂いています。メールに関しても、始まって以来コンスタントに、いただいております。市内の方より県外の方の方がメールは多い。無線で全国の方と繋がっているの、県内の方よりも県外の方から多くメールをいただけるのかなと思います。中には、10分では短い、聞き逃してしまうので再放送してほしい等の反響をいただいております。始まったばかりでこれからの番組の為、今後は意見も踏まえつつ、いい方向にもっていかれたらと思います。

委員

再放送の方法はどうするのか。どこかで聞けるようにするのか。

事務局

タイムフリー機能はついていないので、今のところは自社で再放送を流すしかありません。

事務局

いなべエフエムの災害時、情報収集についてご意見がありましたが、いなべ市と防災協定の中で、警報が出ると市役所と同じ体制で待機し、放送準備をしております。いなべ市からの情報はリアルタイムで頂いて放送する準備はできておりますが、能登の震災の際

に、七尾市のコミュニティエフエムは近くのエフエムと連携しながら放送をしていた。細かい地域情報を放送するのが、重要で、生活に密着した、その時必要な情報を流していたとお聞きしています。地元で生活に密着した企業、お店の方との連携はこれから重要になってくると感じています。備えの中で、しっかりとした確実な情報を提供できる体制づくりが課題です。

事務局

信頼できる仲間が必要です。間違った情報を放送はできないので。

6. 審議事項に対してとった措置

次の番組制作会議にて検討予定

7. 公表の方法

自社ホームページ

8. その他

報告事項なし。

以上